

経済動向調査のまとめ

平成30年12月値

平成31年2月28日 発行

この景気動向調査のまとめは、下記の実施機関の調査資料をまとめたものです。

会員事業所の経営計画等の判断にご活用いただければと思います。

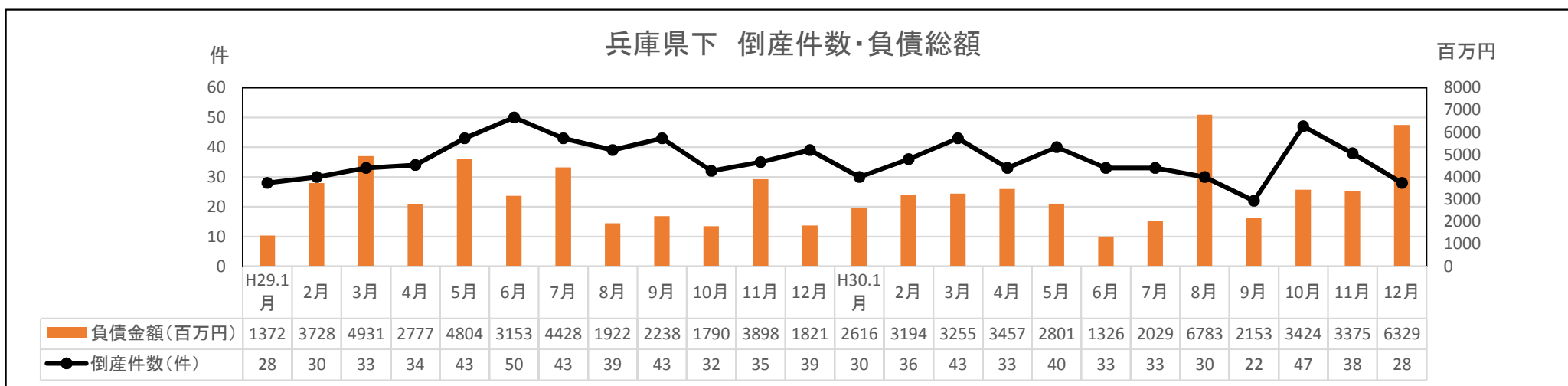
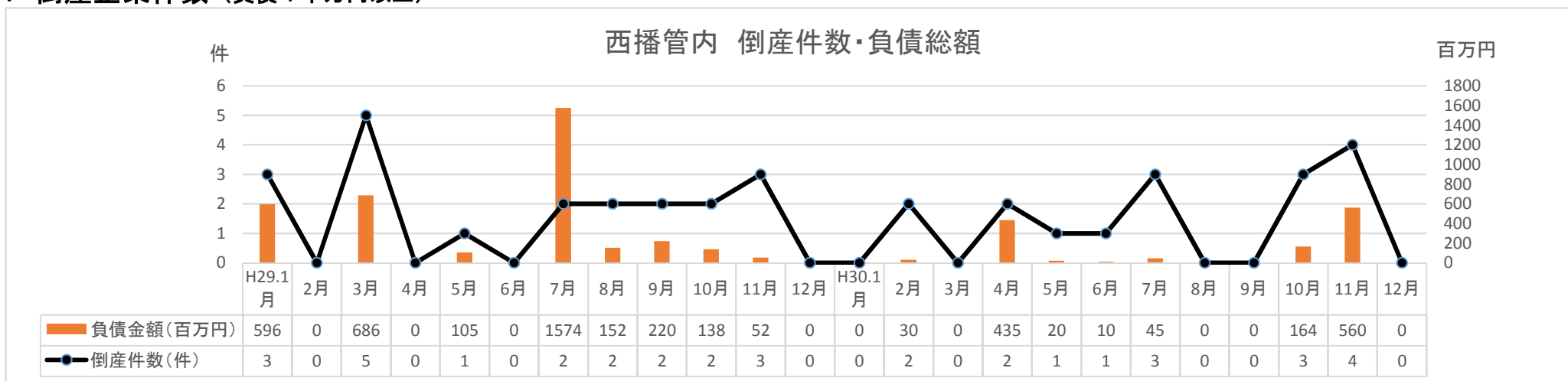
※業種別等の詳細資料をご希望の方は、商工会事務局(TEL 0790-82-2218)へご連絡ください。

経済動向調査 参照元

調査資料	実施機関	調査対象	数値時期
地域経済景況調査	兵庫県西播磨県民局	西播磨県民局管内	
全国中小企業動向調査(小企業データ)	日本政策金融公庫	小企業(6,458社)	H30.10~12
小規模企業景気動向調査	全国商工会連合会	全国300商工会の調査	H30.10~12
にしん景況レポート	西兵庫信用金庫	西播磨地域 101社	H30.10~12

佐用町商工会

1. 倒産企業件数（負債1千万円以上）



【参照元：西播磨県民局 地域経済景況調査 西播磨の経済指標】

西播磨管内

西播磨の12月の企業倒産件数は0件（前年同月0件）となっている。

西播磨の12月の負債総額は0円となっている。（前年同月0円）

兵庫県下

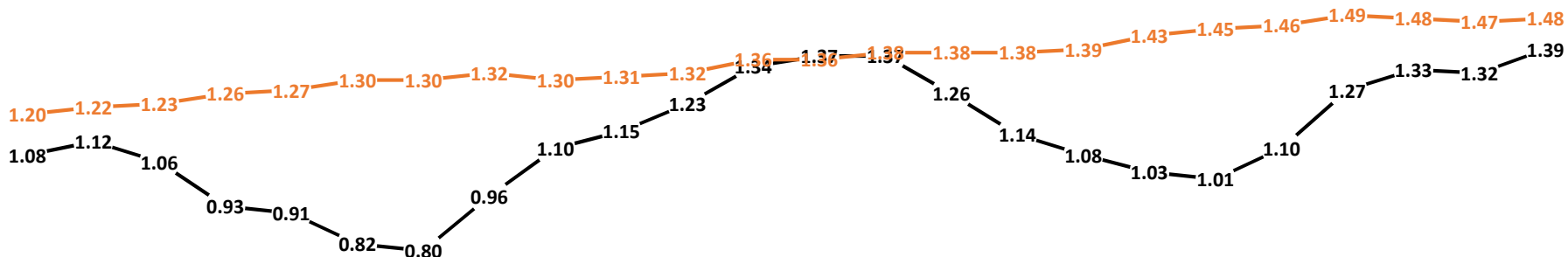
県下の12月の企業倒産件数は28件（前年同月39件）となっている。

なお、県下の12月の負債総額は、63億29百万円（対前年同月比247.6%増）となっている。（前年同月18億21百万円）

2. 西播磨の有効求人倍率の推移

西播磨の12月の有効求職者数は、3,061人（前年比0.1%増）、有効求人数は4,253人（前年比3.5%増）で、有効求人倍率は1.39倍（前年比0.05増）。

なお、兵庫県全体の有効求人倍率（季調値）は1.48倍で対前年同月比で0.12ポイント上昇した。



	H29.01	H29.02	H29.03	H29.04	H29.05	H29.06	H29.07	H29.08	H29.09	H29.10	H29.11	H29.12	H30.01	H30.02	H30.03	H30.04	H30.05	H30.06	H30.07	H30.08	H30.09	H30.10	H30.11	H30.12
龍野職安	1.08	1.12	1.06	0.93	0.91	0.82	0.80	0.96	1.10	1.15	1.23	1.34	1.37	1.37	1.26	1.14	1.08	1.03	1.01	1.10	1.27	1.33	1.32	1.39
兵庫県	1.20	1.22	1.23	1.26	1.27	1.30	1.30	1.32	1.30	1.31	1.32	1.36	1.36	1.38	1.38	1.38	1.39	1.43	1.45	1.46	1.49	1.48	1.47	1.48

龍野職安 兵庫県

【参照元：西播磨県民局 地域経済景況調査 西播磨の経済指標】

有効求人倍率とは、「求人数（仕事の数）」を「仕事をしたい人の数」で割ったものです。
 これは、世の中にどれくらい求人（仕事）があって、それにどれくらい応募（仕事をしたい人）があるかを表しています。
 たとえば、仕事の案件が100件あり、そこに200人応募していたら、有効求人倍率は「0.5」になります。
 逆に、求人募集が200件あって、それに応募する人が100人しかない場合、有効求人倍率は「2」になります。

D I 値とは-----

例えば、売上額D I の場合、経営者等に売上状況を、(1) 良い(2) やや良い(3) 普通(4) やや悪い(5) 悪いの5段階により調査します。

その回答が、(1) 良い 10% (2) やや良い 15% (3) 普通 35% (4) やや悪い 15% (5) 悪い 25%だったとすると

$[(1) 10\% + (2) 15\%] - [(4) 15\% + (5) 25\%] = [25\%] - [40\%] = \Delta 15\%$ --- DI値

DI値 $\Delta 15\%$ とは、「良い」という回答より「悪い」と回答した経営者が15%多いことになる。

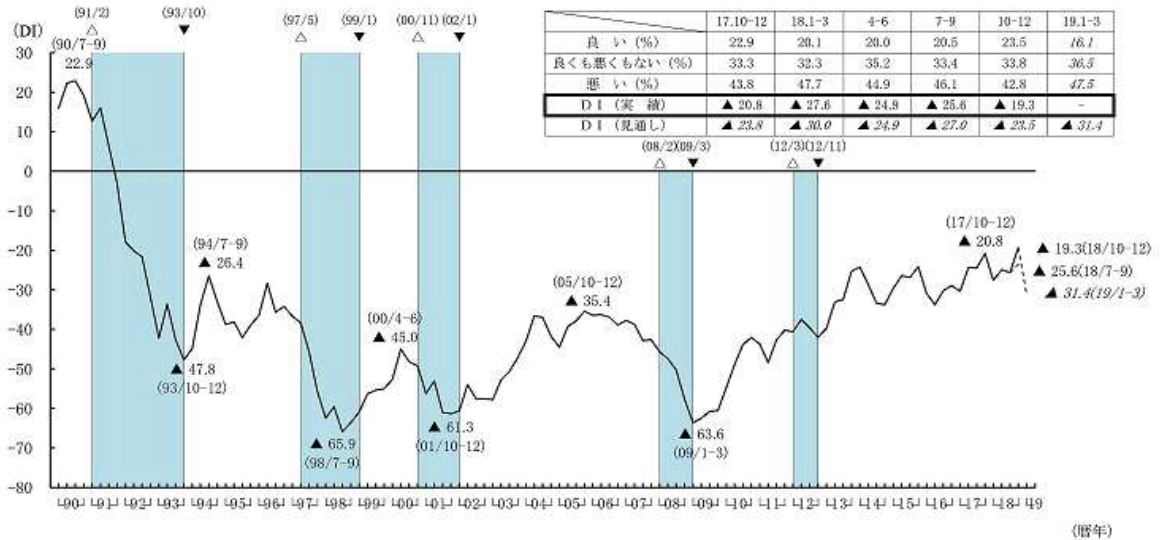
ただ、DI値は結果数値なので、「良い」「悪い」水準比較も必要である。

3. 業況

1 業況判断

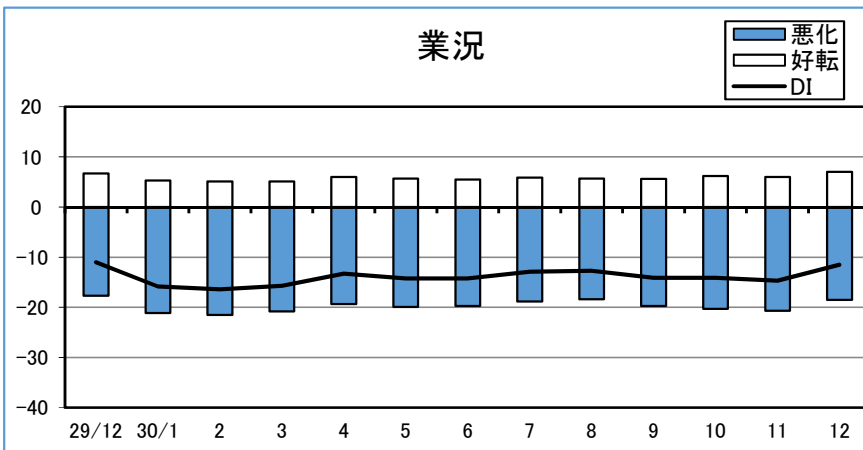
- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2018年7-9月期）からマイナス幅が6.3ポイント縮小し、▲19.3となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大し、▲31.4となる見通しである。

図-1 業況判断DIの推移（全業種計）



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

業況



年/月	好転	悪化	DI
29/12	6.7	-17.7	-11.0
30/1	5.3	-21.1	-15.8
2	5.1	-21.5	-16.4
3	5.1	-20.8	-15.7
4	6.0	-19.3	-13.3
5	5.7	-19.9	-14.2
6	5.5	-19.7	-14.2
7	5.9	-18.8	-12.9
8	5.7	-18.4	-12.7
9	5.6	-19.7	-14.1
10	6.2	-20.3	-14.1
11	6.0	-20.7	-14.7
12	7.0	-18.5	-11.5

暖冬による恩恵を受ける地域があるも、天候不順が景気低迷を誘発する小規模企業業況

12月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)、上額DI、採算DI、資金繰りDIのいずれもが改善した。改善幅は、売上額DI、採算DIがわずかで、資金繰りDIと業況DIは小幅に改善した。年度末の資金需要に対し各地の金融機関は貸出姿勢も良好であった。また、昨年と比べると全国的に降雪が少なく、車による移動がスムーズなことが集客につながっている反面。雪を必要とする観光業や宿泊業では客足が減少したり、天候不順による不漁で水産加工業等に影響がでている。

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

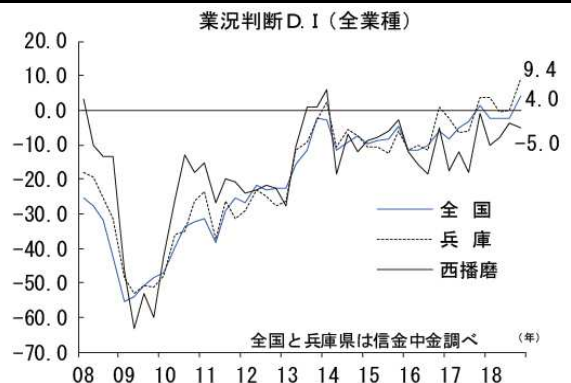
～景況感は小幅な低下～

18年10～12月期(今期)の業況判断D.I.は△5.0と、前期比1.1ポイント低下した。前期に比べ業況が「良い」と回答した企業の割合が2.2ポイント増加したが、「悪い」と回答した企業の割合が3.2ポイント増加したことによる。

前期に比べ売上額は増加したが、仕入価格の上昇により収益が低下したことが主な要因である。

前年同期比の売上額判断D.I.は5.0と前期比0.9ポイント低下し、同収益判断D.I.は△6.9と前期比11.8ポイント低下した。

業種別の業況判断D.I.は、製造業・サービス業・建設業で改善し、卸売業は・小売業・不動産業で低下し



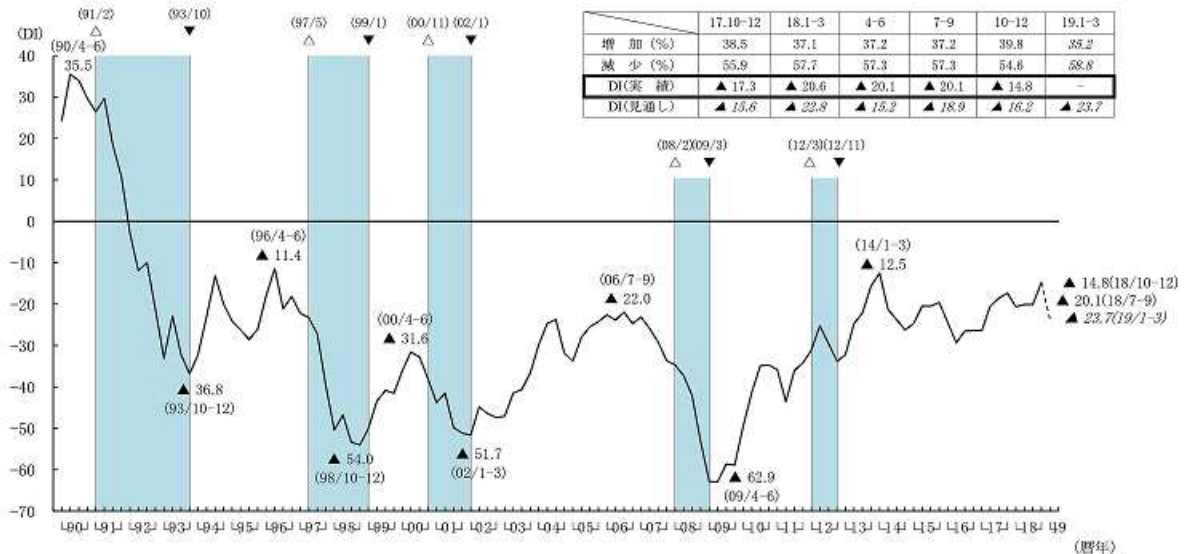
【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況りレポート

4. 売上

2 売上

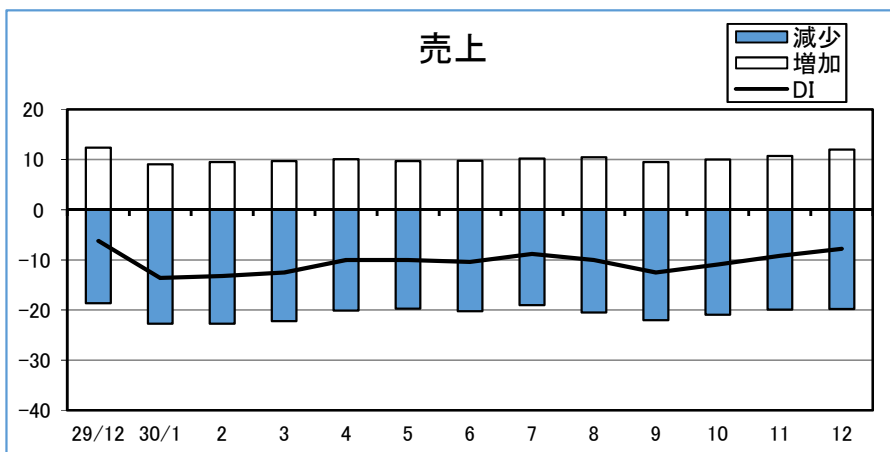
- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が5.3ポイント縮小し、▲14.8となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図-4 売上DIの推移(全業種計)



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

売上



年/月	増加	減少	DI
29/12	12.4	-18.6	-6.2
30/1	9.1	-22.7	-13.6
2	9.5	-22.7	-13.2
3	9.7	-22.2	-12.5
4	10.1	-20.1	-10.0
5	9.7	-19.7	-10.0
6	9.8	-20.2	-10.4
7	10.2	-19.0	-8.8
8	10.5	-20.5	-10.0
9	9.5	-22.0	-12.5
10	10.0	-20.9	-10.9
11	10.7	-19.9	-9.2
12	12.0	-19.8	-7.8

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

前期に比べ売上額は増加したが、仕入価格の上昇により収益が低下したことが主な要因である。

前年同期比の売上額判断D.I.は5.0と前期比0.9ポイント低下し、同収益判断D.I.は△6.9と前期比11.8ポイント低下した。

～販売価格判断D.I.は改善・仕入価格判断D.I.は上昇～

販売価格判断D.I.は4.0と、前期比2.0ポイント改善した。仕入価格判断D.I.は、27.7と前期比4.2ポイント上昇した。

グラフ無し

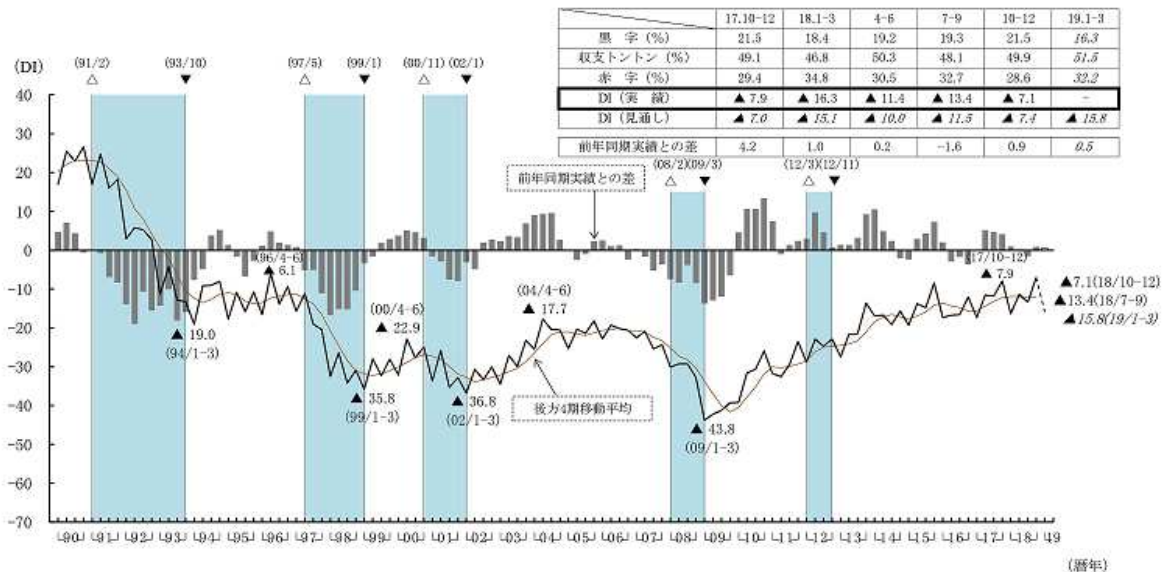
【資料】西兵庫信用金庫 にししん景況リポート

5. 採算

3 採算

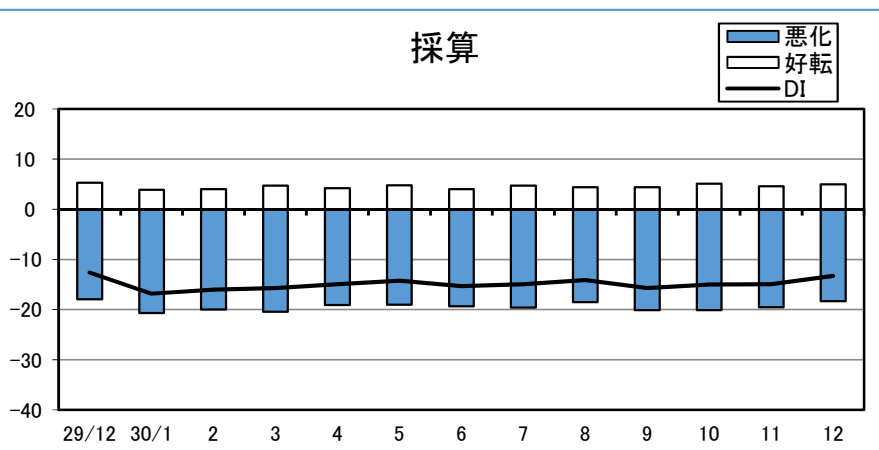
- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が6.3ポイント縮小し、▲7.1となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図-5 採算DIの推移(全業種計)



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

採算



年/月	好転	悪化	DI
29/12	5.3	-17.9	-12.6
30/1	3.9	-20.7	-16.8
2	4.0	-20.0	-16.0
3	4.7	-20.4	-15.7
4	4.2	-19.1	-14.9
5	4.8	-19.0	-14.2
6	4.0	-19.3	-15.3
7	4.7	-19.6	-14.9
8	4.4	-18.5	-14.1
9	4.4	-20.1	-15.7
10	5.1	-20.1	-15.0
11	4.6	-19.5	-14.9
12	5.0	-18.3	-13.3

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

前期に比べ売上額は増加したが、仕入価格の上昇により収益が低下。

グラフ無し

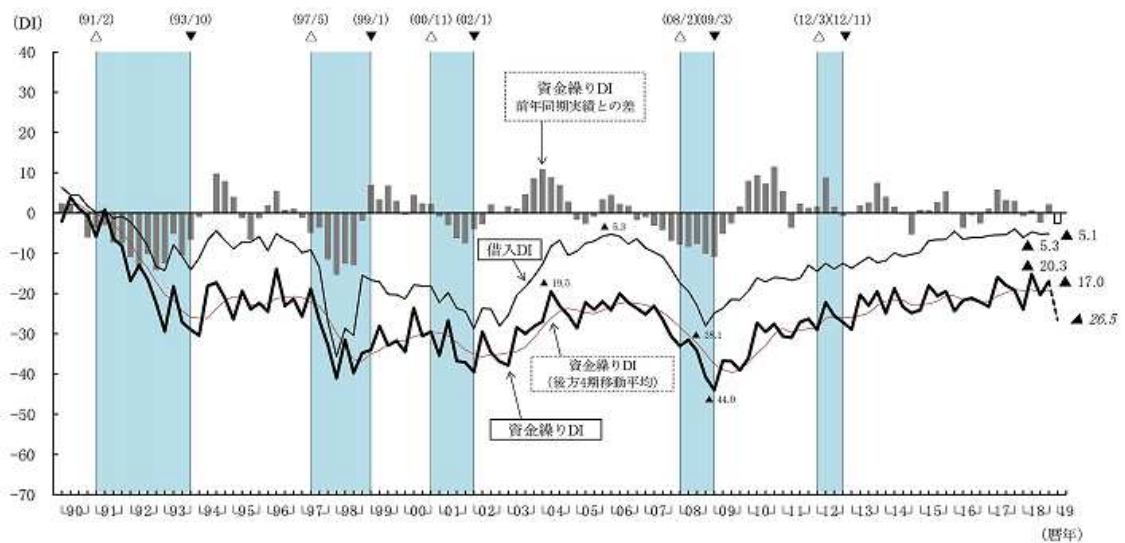
【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート

6. 資金繰り

4 資金繰り、借入

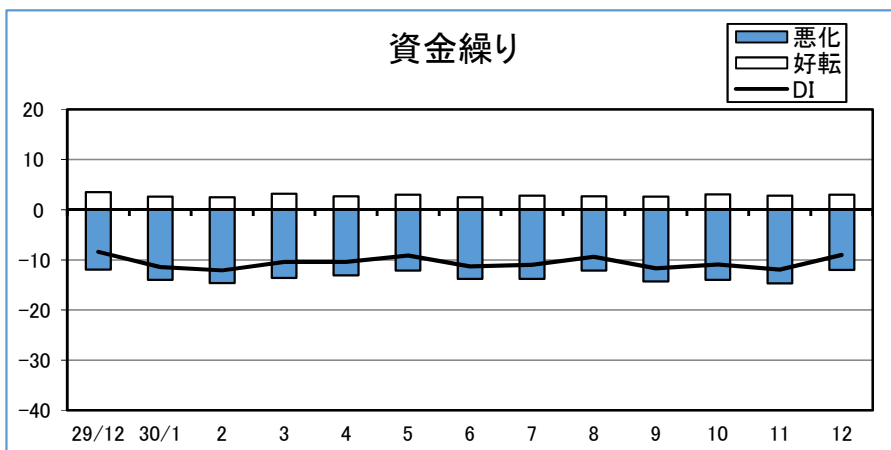
- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が3.3ポイント縮小し、▲17.0となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からほぼ横ばいの▲5.1となった。

図-6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

資金繰り



年/月	好転	悪化	DI
29/12	3.5	-11.9	-8.4
30/1	2.6	-14.0	-11.4
2	2.5	-14.6	-12.1
3	3.2	-13.6	-10.4
4	2.7	-13.1	-10.4
5	3.0	-12.1	-9.1
6	2.5	-13.8	-11.3
7	2.8	-13.8	-11.0
8	2.7	-12.1	-9.4
9	2.6	-14.3	-11.7
10	3.1	-14.0	-10.9
11	2.8	-14.7	-11.9
12	3.0	-12.0	-9.0

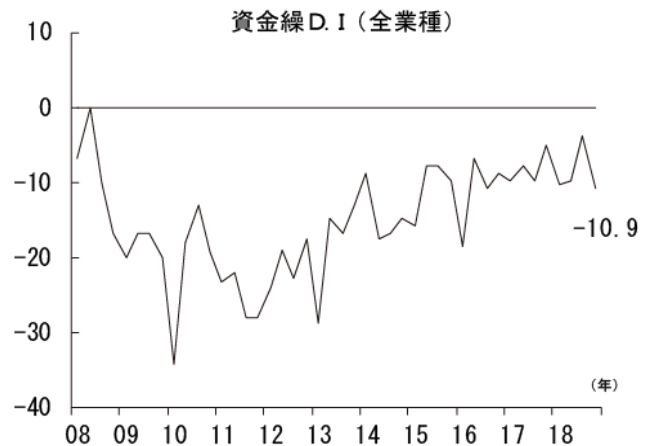
【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

～資金繰り判断D.I.は低下～

資金繰り判断D.I.は▲10.9と、前期比7.0ポイント低下した。

業種別では、製造業が前期比13.0ポイント改善した。

一方、卸売業が同27.3ポイント、サービス業が同21.0ポイント、小売業が同5.9ポイント、建設業が同5.5ポイント、不動産業が同40.0ポイント低下した。



【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート